

【音楽】

ギターの演奏

～ClassPad.net の各種ふせん・授業支援機能を活用する～

ギターの仕組みを理解し、音階を演奏する授業

ギターの基本的な知識・奏法を身につけ、簡単な旋律を演奏する。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：クラシックギターの基本的な奏法を習得させる。段階的に指導し、成功体験を積ませることで、主体的に音楽活動に取り組む意欲を高める。

生徒向けの目標：ギターの種類や特徴、弦やフレットの仕組みを理解する。正しい姿勢でギターを構え、基本的な奏法で音を出せるようにする。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・生徒の集中力アップ：リンクふせんから動画鑑賞をすることで、視覚的イメージにより楽しく授業に興味を持ってもらう。
- ・授業準備の時短／効率化：事前にリンクふせんを用意することで、授業内で扱う楽曲をすぐに生徒に聴かせることができる。
- ・個別最適学習の促進：補足として提示する演奏動画についても、リンクふせんです共有することで生徒が自宅で鑑賞することができる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

《今日のテーマ》

♪ギターの演奏を聴いてみよう

♪ギターの仕組み

♪実際にギターを弾いてみよう

目的・概要の説明

本日の授業について説明。
ギターの特徴、奏法について学ぶことを伝える。

step2

リンクふせんから、ルロイ・アンダーソン作曲の「Plink, Plank, Plunk!」の演奏動画を観てみましょう。クラシックギターの生演奏を聴きながら、以下のポイントに注目して、その音色の魅力を感覚的に味わってください。

《鑑賞の着眼点》

① 弦を指で弾いたとき、どのような響きや余韻が感じられますか？

② 曲のタイトルのように、コミカルで楽しいギターの演奏をぜひ今日で聴いてみましょう。

楽曲の鑑賞

クラシックギターの演奏を鑑賞させる。
ギターの音色に対する感覚的な理解を促し、生徒の興味・関心を高める。

リンクふせんを使用し YouTube でギターの演奏を鑑賞する。

自宅でも見返せるよう、リンクふせんを全員に配布する。

step3

【ギターの種類と特徴を整理しましょう】
ギターには、形や仕組み、用途によってさまざまな種類があります。

今回は代表的な3種類のギターの特徴について整理し、それぞれの違いについて学びましょう。

今回の授業で皆さんが実際に扱うギターは「クラシックギター」です。それぞれの特徴の違いをしっかりと理解しておきましょう。

ギターの種類

3種類のギターを紹介し、それぞれの特徴を整理する。
今回扱うギターがクラシックギターである事を伝える。

テキストふせんを使用し、それぞれのギターの違いを画像とともに紹介。

step4

【クラシックギターの正しい構え方と姿勢】
ギターを上手に演奏するためには、まず正しい姿勢で楽器を構えることがとても大切です。リンクふせんから「楽器解体全書（ヤマハ）」のページを開き、解説を見ながら実際にギターを構えてみましょう。

構え方・姿勢について

クラシックギターの正しい構え方・姿勢を提示。

リンク先のHPを見ながら、解説する。

リンクふせんを使用しリンク先のHPでギターの構え方を確認する。

step5

【グループワーク：実際にギターに触れてみよう！】
ここからは3～5名程度のグループに分かれて活動します。実際にギターを手元で確認しながら、右手と左手の使い方（奏法）を練習していきます。

グループ分け

ここからは3～5名程度のグループに分かれて、実際にギターを手元で確認しながら授業を進める。

step6

【右手の使い方（ピッキング）】
弦を弾くときは、人差し指・中指、あるいは親指を使います。

《グループで実験してみましょう！》

問い：人差し指や中指で弾いたときと、親指で弾いたときでは、音の響きや音色にどのような違いがありますか？実際に交互に弾き比べて、気づいた違いを話し合ってください。

奏法の理解

両手の使い方について説明する。
生徒も実際にギターに触れながら実践する。

テキストふせんを使用し、ギターの奏法について説明する。

step7

【ギターの音階の仕組みを学びましょう】
ギターの音階が変わる仕組みと、「開放弦（かいほうげん）」という重要な言葉について説明します。

《音階の仕組み》

① 開放弦（かいほうげん）：左手でどこも押さえずに、右手で弦をそのまま弾いたときの音のことです。

② フレットによる音の変化：ネックにある金属の棒（フレット）の近くを左手で押さえること

音階の理解

開放弦の意味および音階の仕組み、弦とフレットについて説明する。
ふせんの図を見ながら、実際にドレミファソの音階を弾いてみる。

テキストふせんを使用し、ギターの音階について説明する。弾いている様子をカメラふせん（動画）で撮影し合い、構え方や手の使い方、鳴らした音が適切かを確認し合う。

step8

【振り返りワークシート：今日学んだこと・感想】
本日の授業を振り返って、新しく知ったことや実際にギターを演奏してみた感想を以下にまとめましょう。

① 今日学んだこと・気づいたこと：

② 実際にギターを演奏してみた感想（楽しかったポイント）：

まとめ・次回予告

ワークシートにて、今日学んだことや感想を記入する。

今回の授業では、実際に楽譜を配布し、旋律音階のみの簡単な演奏に取り組むことを伝える。

授業支援機能を使って、テキストふせんをワークシートとして配布。配布されたふせんに手書きで記入後、教師に提出。

step9

【プロの高度な演奏に触れてみよう】
本日の授業の締めくくりとして、プロのギタリストによる高度なクラシックギターの演奏動画を紹介します。ギターは1本でメロディ（旋律）と伴奏（和音）を同時に演奏することができる、とても表現力豊かな楽器です。

参考・補足

模範となる演奏として、高度な演奏動画を補足として紹介。

補足として、リンクふせんを使用しYouTube でギターの演奏動画を配布。

自宅でも見返せるよう、リンクふせんを全員に配布する。